学校番号	T0301

令和８度　国語科

教科	国語	科目	古典探究	単位数	2 単位	年次	4 年次
使用教科書	高等学校　標準　古典探究（第一学習社）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・近代以前の古文や漢文を中心に学習します。また、それらに関して書かれた現代の文章も扱います。
・授業では、主にプリントを使用しますが、教科書も忘れずに持参してください。
・日々の授業にしっかりと取り組みましょう。
・提出物の期限を守り、紛失などしないように自己管理をしましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
伝統的な言葉や文化をはじめ古典に関する知識を学び、理解を深め身につけている。
【思考力、判断力、表現力等】
作品内容を理解し人物や時代背景とともに考え判断し、自らの感想や意見を持ち発展させようとしている。
【学びに向かう力、人間性等】
古典作品を読む力を高めようとし、登場人物や作者の気持ちに寄り添い自らの人間性を豊かにしようとしている。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、古典に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をふかめようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
前期	文章の種類を踏まえ、表現に注意して内容を捉える。 ［教材］『方丈記』 ゆく川の流れ 安元の大火	a：古典の作品や文章の種類について理解を深めようとする。 b[読]：和漢混交文で書かれた随筆という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 c：作品に表れた無常観を粘り強く読み取り、自分のものの見方、考え方を深めようとしている。	ワークシート	ワークシート	授業態度
	作品の成立した背景や表現に注意して、内容を理解し解釈を深める。 ［教材］『平家物語』 忠度の都落ち 能登殿の最期	a：古典の作品や文章に表れる表現の特色について理解を深めようとする。 b[読]：作品の成立背景や他作品との関係をふまえて、内容の理解や解釈を深める。 c：学習課題に沿って、口承文学による言葉の使い方や変化について理解を深めようとする。	ワークシート	ワークシート	振り返りシート
	文章の種類を踏まえて、構成や展開など的確に捉える。 ［教材］『枕草子』 すさまじきもの 雪のいと高う降りたるを	a：語句の量を増やし、語彙かにする。 b[読]：随筆という文章の構成や展開、内容を的確に捉えようとする。 c：本文の叙述や表現に即して、粘り強く読み、学習課題に沿って自分の考えを深めようとしている。	ワークシート	ワークシート	授業態度
後期	作品の内容を踏まえて音読をする ［教材］故事・寓話 嬰逆鱗・朝三暮四 鹿柴・絶句・峨眉山月	a：漢詩の特徴や日本語との相違点を意識し、漢文の規則を理解しようとする。 b[読]：漢詩の構成や展開を工夫する方法を学ぶ。 c：漢詩の規則やリズムを意識した音読を心掛けようとしている。			
	先人のものの見方や感じ方に親しみ、自分の知見を広げたり深めたりする。 ［教材］『紫式部日記』 日本紀の御局 『蜻蛉日記』 汁垢の水	a：主として敬語表現に関する文語のきまりへの理解を深める。 b[読]：日記文学という文章の種類をふまえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えようとする。 c：内容を的確に捉えるために、作品の中で使われている敬語表現を積極的に理解して説明しようとしている。			

※表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準ｂ[　]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　2　）時間

・書くこと　…　（　2　）時間

・読むこと　…　（　4　）時間